

英語 (English)

基盤英語 (Basic English)

(工 (光)1年)

宮崎 隆義・教授 / 大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部

1単位 前期 月 5・6

(平成 19 年度以前の授業科目:『基盤英語』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前)の授業科目:『英語 (1)』)

【授業の目的】 外国語の理解と習得は、今や国際的な交流や相互の理解に不可欠なことは言うまでもないが、言葉は単なるコミュニケーションのための道具ではない。言葉は、それを使う人々の考え方や文化の基礎を成すものであって、言葉を理解することは、その言葉を使う人々が、外界の事象をどのように捉えているかを理解することであり、その人々の考え方や文化を理解することに通ずる。大学入学時までの力を確認しつつ、大学において必要な基盤となる英語の力をつけることを目的とするが、同時に英語という言葉をしつくりと味わうことによって、英語を使う人々の考え方やその文化も理解したい。

【授業の概要】 大学における英語力習得の基盤となるよう、TOEIC 等の資格試験の準備学習を交えつつ、英語の文章を読み書くことを通して英語の構造に目を向けながら、英語の力を総合的に高める。

【キーワード】 英語の構造, 総合英語, ライティング

【先行科目】 [先行科目]

【関連科目】 [関連科目]

【到達目標】

1. 英語の構造を主にライティングを通して概括的に理解する。
2. 英語の 4 技能を伸ばすための基盤を作る。

【授業の計画】

1. イントロダクション
2. Playing rugby in the U.S. part I
3. Playing rugby in the U.S. part II
4. Vegetarianism
5. English
6. ESL Class
7. Drinking
8. Homeless
9. The use of the Internet
10. Lonely elderly people
11. Different communication styles
12. Coming to Japan

13. Going to the gym

14. Is that dessert?

15. 期末試験

16. 総括授業

【教科書】 異文化理解のための実践学習, 松柏社, 1700 円。

【参考書等】 参考書等については適宜紹介し, 他にプリント等も用意する。

【成績評価の方法】 授業への取り組み状況, 小テスト, 期末試験の結果等を総合的に判断し単位認定の評価とする。

【再試験の有無】 有り

【受講者へのメッセージ】 日々の積み重ねを重視してください。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220868>

【連絡先 (オフィスアワー・研究室・E メールアドレス)】

⇒ 宮崎 (総合科学部 1 号館 3 階北棟 3309, 656-7131, miyazaki@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火・木曜日 12 時 ~ 13 時)

English

Basic English

(工(光)1年)

Takayoshi Miyazaki · PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

1 unit 前期 月 5・6

(平成 19 年度以前の授業科目:『基盤英語』) (平成 16 年度以前 (医保は 17 年度以前)の授業科目:『英語(1)』)

Target) 外国語の理解と習得は、今や国際的な交流や相互の理解に不可欠なことは言うまでもないが、言葉は単なるコミュニケーションのための道具ではない。言葉は、それを使う人々の考え方や文化の基礎を成すものであって、言葉を理解することは、その言葉を使う人々が、外界の事象をどのように捉えているかを理解することであり、その人々の考え方や文化を理解することに通ずる。大学入学時までの力を確認しつつ、大学において必要な基盤となる英語の力をつけることを目的とするが、同時に英語という言葉をしつくりと味わうことによって、英語を使う人々の考え方やその文化も理解したい。

Outline) 大学における英語力習得の基盤となるよう、TOEIC 等の資格試験の準備学習を交えつつ、英語の文章を読み書くことを通して英語の構造に目を向けながら、英語の力を総合的に高める。

Keyword) 英語の構造, 総合英語, ライティング

Fundamental Lecture) [先行科目]

Relational Lecture) [関連科目]

Goal)

1. 英語の構造を主にライティングを通して概括的に理解する。
2. 英語の 4 技能を伸ばすための基盤を作る。

Schedule)

1. イントロダクション
2. Playing rugby in the U.S. part I
3. Playing rugby in the U.S. part II
4. Vegetarianism
5. English
6. ESL Class
7. Drinking
8. Homeless
9. The use of the Internet
10. Lonely elderly people
11. Different communication styles
12. Coming to Japan

13. Going to the gym

14. Is that dessert?

15. 期末試験

16. 総括授業

Textbook) A Gate to Intercultural Communication, Shohakusha, 1700yen.

Reference) 参考書等については適宜紹介し、他にプリント等も用意する。

Evaluation Criteria) 授業への取り組み状況、小テスト、期末試験の結果等を総合的に判断し単位認定の評価とする。

Re-evaluation) 有り

Message) 日々の積み重ねを重視してください。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220868>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Miyazaki (3309, 656-7131, miyazaki@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 火・木曜日 12 時 ~ 13 時)